

アトサヌプリの火山活動解説資料（平成24年10月）

札幌管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成19年12月1日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・噴気などの表面現象の状況（図1-①②、図2～5）

F 1 噴気孔群及びF 2 噴気孔群の噴気の高さは火口上概ね200m以下で、噴気活動は低調に経過しました。

18日に国土交通省北海道開発局の協力を得て実施した上空からの目視による観測では、アトサヌプリ溶岩ドームの噴気の状況に特段の変化はありませんでした。

・地震及び微動の発生状況（図1-③）

火山性地震は少なく、地震活動は低調に経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・地殻変動の状況（図1-④）

GPS連続観測では、火山活動によると考えられる地殻変動は認められませんでした。

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)でも閲覧することができます。

※ 資料は気象庁のほか、国土地理院のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号 平23情使、第467号）。

次回の火山活動解説資料（平成24年11月分）は平成24年12月10日に発表する予定です。

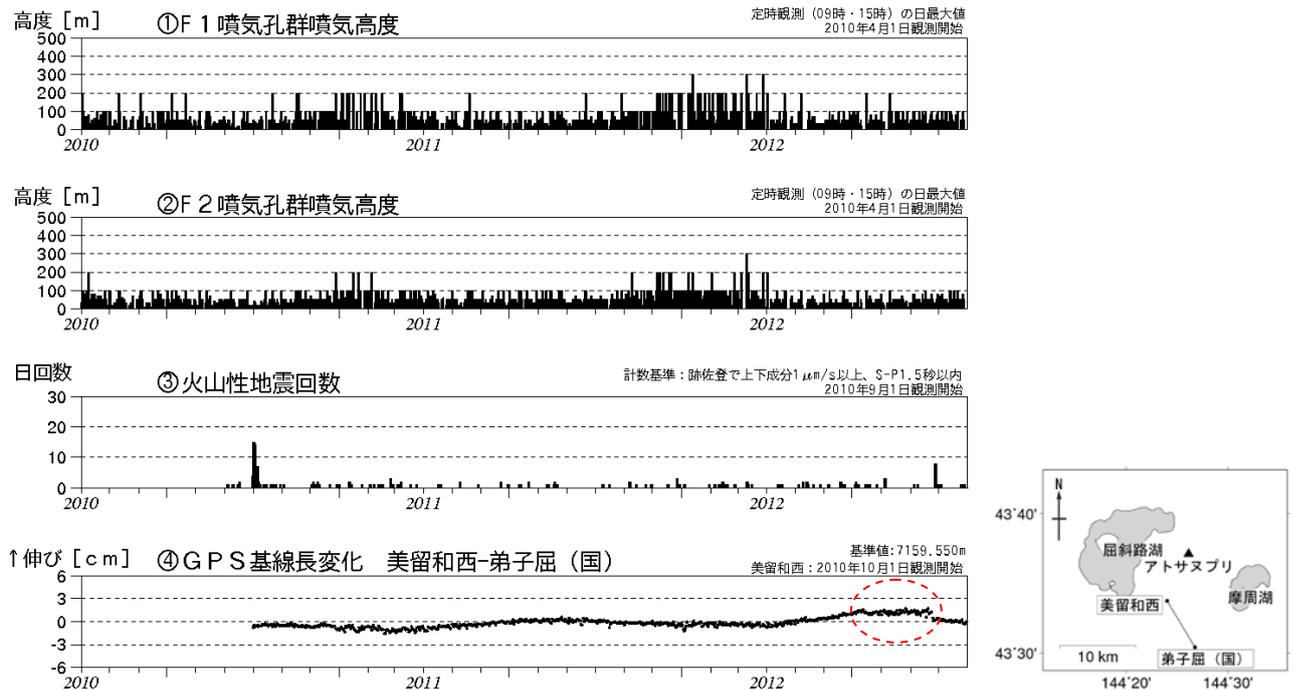


図 1※ アトサヌプリ 火山活動経過図 (2010年 4 月～2012年10月)、GPS連続観測点配置図

- ・④のGPS基線は右図に対応しています
- ・④の赤点線内の変化は、弟子屈 (国) 付近の樹木の成長および伐採 (2012年 9 月下旬) による
- ・(国) : 国土地理院



図 2 アトサヌプリ 山体北側の状況 (10月27日、北東山麓遠望カメラによる)

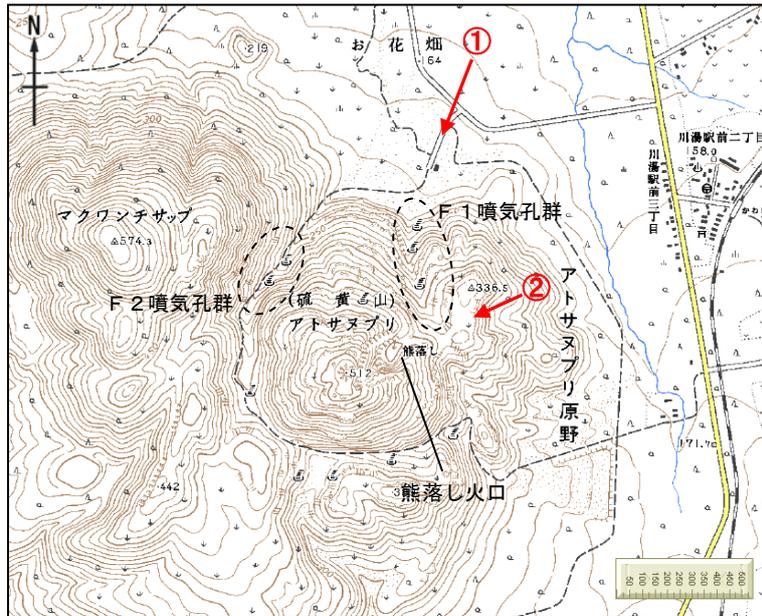


図3 アトサヌプリ 周辺図 (矢印は写真の撮影方向)



図4 アトサヌプリ 全景
(北北東側上空、図3-①矢印の方向より撮影)



図5 アトサヌプリ 熊落し火口の状況
(東北東側上空、図3-②矢印の方向より撮影)

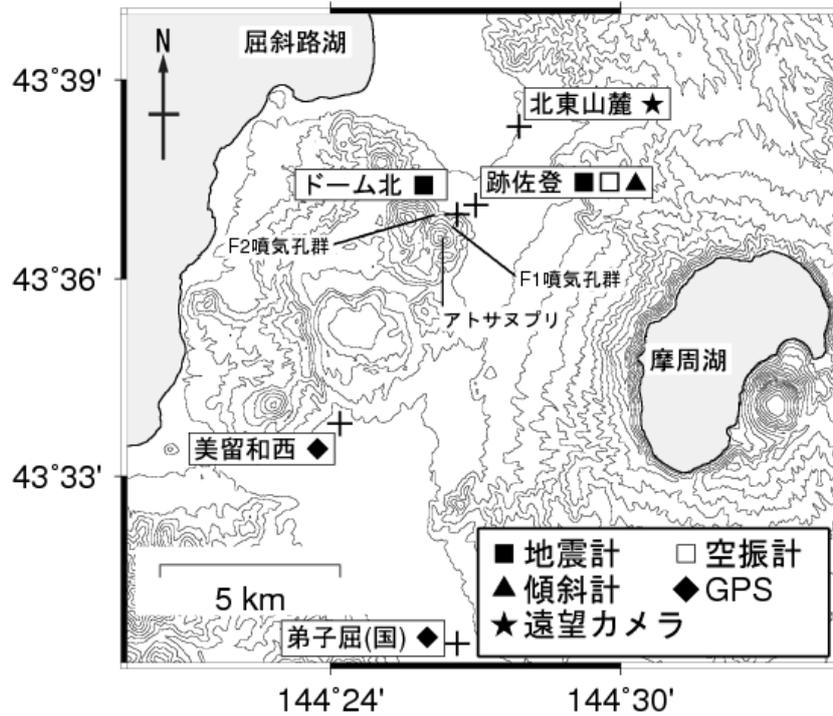


図6 アトサヌプリ 観測点配置図
 +は観測点の位置を示します
 気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています
 (国)：国土地理院